

第 2 號

昭和30年10月25日発行



發行所 高萩市役所
 編集 農林課
 印刷 藤枝印刷所

新生活運動を盛り上げよう

（高萩市役所）

戦後十年を経まして各々の生活も安定してまいりましたし、新しい文化建設への努力もまた、めざましいものが見られます。しかしながら一歩立ち入って国情を見ますと、経済生活の基礎が固ったとは言えないのであります。希望と進取を欠いた退廃的傾向と共に国民生活の向上を妨げる封建的因習のなごりも又、随所に見受けられます。このような状態の中で直ちにみづからの生活を高め、幸福な暮しのできる家庭、社会、並びに國家を築きあげるために、地域に、また職域に、共同して生活を改善し、因習を打破して、物質的にも精神的にも豊かな生活を打ち立てようとする運動、この運動が大まかに新生活運動と總称されておるのであります。

新生活運動が健全に育ち国民の各層に展開して美しい花を咲かせる事は、わが国民生活の現状を見て最早くや一刻も安閑と待っている事を許さない程刻下の急務ではなからうかと存じます。しかしこの新生活運動が、やゝすると地域や職場での散発的なものにとどまらず、広く波及することが出来なかつたり或は形式にのみ流れて一時的な行事に終ってしまふ場合が少なからず

しないのでありますので、國は勿論、県に於ても大きくとりあげこの運動を県下全市町村に推し拡げるべく昭和二十五年より知事室に生活科学課を設けて生活科学化運動を実施して参つたのであります。

而して県は、衣、食、住、保健衛生、生活行事の改善合理化等、各部門をあげて、モデル部落を指定し、その実践するような気運の醸成に努ると共にモデル部落を指定して住民の熱意を一層高めてより大いにその推進を図っておるのであります。

本市は県のモデル市として本年度より発足いたしましたのであります。日尙浅く運動方針も実践目標もはっきり定まっておりますが、本年度は次の三点をあげてこの運動を推進してまいりたいと存じます。

①第一に、本運動は、関連する部面が多岐に亘っており地域団体や職域団体及び官庁相互間の連絡と協力がいずれも切実であるので新しい連絡の機関や組織を設けると共に本運動をより高めるための機関紙を発行継続してまいります。

②第二に民間団体や官庁それぞれの立場に於て、それぞれの地域や職場の事情に即した具体的な問題（謂へば各部門の何れかを担当する）をとりあげ、着実に、そして重点的に、近い目標から、遠い目標に、進んで行くよう実行計画を立て、遂次市民全般の運動として推し進めてまいります。

③第三に、本市が本年度実践目標としてとりあげてみたいことは

- ①時間の厳守
- ②祭礼の一本化
- ③新旧暦の統一
- ④正月、節句、七夕、盂蘭盆、等の月遅れ、或は新暦一本化
- ⑤婚礼の簡素化
- ⑥酒宴様式の改善等

でありましたことからは古くからの慣習で、急速に改善出来るものではないので長期計画のものに除々に改めていきたい。

要は新生活運動が市民自らの力で明るく積極的に展開して市内のすみずみまで推し拡げられ、先ず身近なところから一つ一つ実践されて、自らの現在を一層豊かな生活、余裕のある生活、文化的な生活に高めていくことが出来ればと念願するものであります。何と云うのも集団の中の指導者に当るもの熱意と努力に期待するものであります。同時に、目ざめた市民大衆の中から自発的は盛り上がる自主性豊かなものでなければなりません。各々地帯、職域団体並びに各官公庁関係各位の絶大なる御協力をいただきまして、本市の生活科学化が一段と推し進められよう切望する次第であります。

公明選挙と新生活

本年は普通選挙が実施されてから三十周年、婦人参政権が実現してから十周年に当たっている。民主政治の発展に意義深いこの年を記念しようとして各地で、政治をよくする座談会とか、お話と映画の集いとかが、公明選挙推進の講演会、などを九月より十二月にかけて行なうと計画が進められ或は実施されているとのことである。

高萩市としてもこの機会に公明選挙の趣旨を市民に十分認識して貰うよう、いろいろな行事を計画いたし公明選挙の理想の実現に邁進したいと考へておりますものゝ間近かに迫る市制施行最初の議会議員選挙事務に忙殺され記念行事も出来得ないことは遺憾に存じますが普通選挙三十周年に当る、ことし第一回市会議員選挙が行なわれることは幸でもありまた意義深いことである。

公明選挙も新生活も共に、これから新しいものを創造して行こうと云うものではない。今までの生活に或は現在の生活の中で不合理なことや、改めたいと考へた事を一つ一つ改善して行くこととで、やろうと思えば誰にでも出来るものである。公明選挙講演会などには選挙の公明を説く必要のない立派な人々が多く集るものだし、新生活運動についても実際に中心になって推進されるものゝ中には、意欲的にも、行動的にも旧生活から離れることの出来ない人が少なくないではなからうか。

このような矛盾と不合理をまず克服してゆかねばならないところにどちらの運動も、また実践も難かしさがあり、公明選挙も生活改善も共に年月をかけて行うのでなければその成果は期待できないと思ふ。さればと言って手をこまねいて実践される日を守っていったら、いつの日か公明選挙も新生活もできることだろう。

緊箍一番旧弊を打破して明朗な選挙を、そして住みよい明るい平和な高萩市の建設のためにみんなで協力いたしましょう。

第五回 茨城県生活科学展開催について

高萩市

県民の生活を向上し、健康で明るい文化的な生活を確立すると共に生活科学に対する深い関心と熱意の向上を図り、併せて食生活を中心として科学化された家庭生活の実態を認識せしめるため、総合的生活科学展を次により開催することになりましたので開催期間中は一人でも多く誘い合せて参観せられるよう、また市内生産品を多数出品せられるようお願いいたします。

一、期 日

昭和三〇年一月二九日から二月二日まで四日間 場所 茨城会館

二、展示方針

①県内産又は県製品を展示して県産品の愛用を推進する。

②県内の創意工夫を集め県民の発明工夫の振興をはかる。

③食生活改善に必要な栄養食品を展示し、併せて料理の講習を行う。

④県民の生活向上に寄与すると認められるものは前項に拘らず展示する。

三、陳 列

衣食住保健衛生及び生活行事の五部門に分類し、生活の実態に即応するよう総合的に陳列する。四、出品申込

- ①出品を希望する者は出品申込書を十一月十日までに市役所農林課を經由して県生活科学課へ提出する。
- ②出品申込者に対しては十一月十八日までに展示場所及びコマ数を通知する。
- ③展示品の搬入は十一月二十八日午後一時からとし、出品者が行うものとする。

五、其の他

①展示品の説明は出品者が行うものとし、図示が適当なものは図表を付すること。

②会場費は無料とするが装飾、管理、その他に経費を要するものは出品者の負担とする。

③展示品の保管については、主催者側で留意するが、火災、盗難その他不可抗力のための損害については一切の責任を負わない。

④会場整理及び出品物の搬出は十二月二日午後一時以後当日限りとする。

六、本市でお奨めする出品

日常生活上の必需品を中心に衣食住の三部門に分類して取揃えるものとするが、衣部門及び該当な

- いものは省略した。
- ①食関係 うどん、味噌、しょう油、酒、納豆菓子類、椎茸
- ②住関係 耐火練瓦、セメント瓦

選挙投票日
11月12日

昨今の行事

△九月四日 第九回茨城県民体育祭地方大会として第一回高萩市民体育大会が秋晴れに恵まれて高萩高等学校々庭で盛大に開催され健康の増進、体力の向上に寄与するところ大きかった。

△九月八日 生活行事改善モデル部落では石滝公民館に部落民四十余名を集めて八月十五日より一週間県主催生

活科学化講習会に出席した松本光枝さんの伝達講習会を行ったのち各種の集會に時間を守ることや結婚式を簡単にして無駄を省くことなどを申合せた。



「スポーツの秋」を飾る 市民体育大會風景

◎高岡選挙区

旧高岡村一円(三)名 補充選挙人名簿の調製期日及び選挙人名簿の縦覧期間は次の通りであるので申請もれのないようお願いいたします。

- 一、登録申請期間 昭和三十年十月二十八日から昭和三十年十月三十一日まで
- 一、縦覧 期間 昭和三十年十一月三日から昭和三十年十一月五日まで

◎高萩選挙区

旧高萩町一円 旧松岡村一円 旧黒前村一円 二十七名

小 対 話

「君は何時まで土合をつくっているのだい」「材木のくるまで」「何時材木がくるのだい」「そんなことはわからない」「そんなら今迄の努力が無駄になるかも知れないのだね」「そんなことはないよ、土合のかため方を研究するだけだって、今の日本ちや立派な仕事だからね」

新生活運動の感想

下君田 鈴木重忠

隔絶された山村、その山村をみじめな生活に陥れているのは環境的不利が根元である。かゝるが故に非合理的な非科学的な生活や慣習が実在するのである。

自動車で三十分もかければすむ用事を一日がかりで数里の道を往復歩いてたさなればならない。都合では高い宿賃を拂つて泊ると、夜おそく帰る家には暗いランプと麦飯と味噌汁、たくあんがまわっているだけである。病氣をしても医者へも行けない。富山の売薬位で万事すませるほかはない。

医者を呼ぶのは数千円乃至一万円を必要とする。金持でない限り死ぬか生きるかの瀬戸際でなければかかれぬ、早く手当をすれば治る患者が空しく死んで行くのだ。

原子力時代にラジオも聞けず新聞も一、二の特種な人が読むだけだ、すべてが古い因習とあきらめと、無自覺の生活に甘んじている。山で飛る物資は、高い運賃が加算され、手取は安くなり、買うものは反対に高い。

こんな不便利な環境にあえぐ人々が過勞の為にうごめいてくるのだ。人間並の生活が出来るようにする根本は交通だ(道路の改善)

通信だ(電話の架設)無限の富である木材や、唯一の副業である木炭がどんどん出荷出来る。医者も電話一つで呼べる。「ラジオ」も聞ける。新聞も本も読める。用事も自転車で行ける。バスで日帰の楽しい行楽も出来る。生活環境を改善することが啓蒙の一番近道だ、然しそれは決して容易なことではない。

過重労働経済的貧困、山村に於ける発言力の貧弱幾多の難関が横たわっている執拗な努力と時代的要求である。

奥地開発の波のつて曲りなりにも道路は開発された。若果まで開通し近く部内まで入る。然しそのうらには涙ぐましい多くの人々の努力、部落民の努力率仕多額の現地負担金の拠出等があることを忘れてはならない。

こうして時代を過ぎて、公衆電話も昨秋開通した。部落民はバスが開通したよりも便利だと喜んでゐる。道路の新設改修と相俟って医者もハイヤーで飛んで来る。新婚夫婦は随先からハイヤーで新婚旅行に出かけるほゝえましい風景も見受けられる。

終戦時まで昔からこれとやうな生活が来たんだからとランプ

(それもホヤもないランプ)で暮している人は陽のあるうちに夕食をすませ、暗くなったら寝るといふ人々も自家発電ながら一、二戸の離家まで電燈がついた今日を思ふと隔世の感なきを得ない。

どの家でもラジオがジャンジャン鳴っている。近所のうわさ話に終始した老人婦人達もいつとわなく話題が変つて来たのだ。いままで特殊の人に限られた新聞も、今では読まれない人はなすくよくなり、新聞の面目を發揮するようになつた。

こうした環境の変化は村人の頭を変化させた。農耕上の注意、新生活への意欲が

自然に湧いて来る。新聞に雑誌に戦後十年の回顧録が氾濫している、だが渺たる一山村の生活環境の変化は之等の記録にまさる大きなものである。

こゝまで来れば安心だ。：あとは機会を手へればいゝのだ、視る機会、実行する機会、然し新生活運動に一番必要なのは根気である。十年二十年の長期計画でコツコツとたゆまざる努力を続ける行くのでなければこの効果を期することは出来ない。以上現在迄の感想をのべさせて頂いたことを感謝してペンを置く。



太陽

◎去る八月二十四日茨城会館で第十回新生活運動研究大会が二千余名の婦人が参加して盛大に開催されたことは新聞等で報導されたので既に周知の事だと思ふ。

◎農家の主婦達には生活改善と云えばカマドや台所大会の結果だと思ひ込んでゐるむきもあるようだが本最近婦人が特に関心をもつて来たことは誠に喜ばしいことだ。

◎農村の台所が文化的に合理化されつゝあることは事実だが、新生活運動は形の上だけの問題でなく、精神面の改善がより大切ではないだろうか。

◎婦人の集りには多くの男子が出席する、男子の集れれば家庭の生活改善も社会の生活改善も案外易々と出来ると思ふ。

◎貯蓄にしろ、納税にしろ、生活改善にしろ、主婦派な成果が必ずあがるだらう。

衣生活モデル部落

濱野班活動の實際

「たとえ手縫いでもよいから自分で裁つて自分で縫えたら」と云う声を高萩婦人会が取りあげて生れた手芸クラブのリーダー佐藤操女史(当時濱野班居住現在日立市(転居)の熱心な指導に動かされた濱野班婦人会員約三十名が先づ、自分達の周囲の衣生活の改善からと、毎月定例会を開いて、たのしい家庭着やエプロンの工夫、簡単で衛生的な乳幼児の肌着、或は寝衣の合理化等について自主的に研究を続けると共に月例会や展示会等に於て考案衣の研究発表を行っている。

月例会はたゞ衣生活の改善研究に終始するのでなく、食生活面にも又、生活行事の簡素化面にも研究討議の場となり有形無形の向上をもちたす基となつて家庭にうるおいと余裕を添へ、たのしい豊かな文化生活をいとなむ大きな力となっている。

しかし長年に亘つて継続されて来た手芸クラブと濱野班の月例会の大きな足跡の影には佐藤操女史のなみなみならぬ努力と大高会長の初め丹、助友、住谷各幹部の援助による処が大きいのであるが、何と云つても濱野班代表者齋藤みつ氏が濱野班活動の中心的役割をなしている事を特記すべきである。

尚、毎月一回日立市より指導に來られている佐藤女史はよいリーダーを得るためにはと、こゝろ詰つた。

「リーダーに對する信頼、尊敬、親愛感などの大半は、リーダーの支拂う犠牲の大きさとそれに対する適当な処理の如何によるものである。

大きな犠牲を拂うという事が美談視されている間、この活動は進歩しないと思ふ。仕事に應じた適當の報酬を確保して行くことは当然な事だと云うことが周囲は勿論、リーダー自身も無理なく認めて行けるようになるまで勉強しなければならぬ。今後は各自の研究に應じ、この努力を認めて行く態度を養ひつゝこの点をみんなで学びつゝ行きたいと望んでいる。」

この言葉は我々も教られもし、大いに学ばなければならぬ。この中でクラブ活動の成功の鍵は何と云つても會員の中に熱心な指導者を得ることであると云うことを痛感させられた。

(編集部)



物と心

高萩(商業) 神長 吉衛

高萩市生活改善は「農村を中心とした生活環境の改善にある」と、或人は言い過ぎていますが全くその通りです。

農家の生活様式は今でも旧態依然としているものが多いので、お合所やカマドを改善したり、お風呂場をタイル張りにして水道を取りつたりすることも誠意に結構ではありませんが、この運動をして全市民に意識あらしめるためには、もう一歩つき進んで基本的な人間性、即ち「社会生活に於ける物質的な安定と個人の自由と尊厳」とにふれる必要があると考えます。

現在高萩市民の生活が果して安定しているでしょうか、そして個人の自由と尊厳とが保持されているでしょうか、市民が貧困の故に権力ある者に服従し、或は嫁が姑の権威のもとに服従させられて暗い生活を送ってはいませんか、主人の無反省な行動によって家族が苦しんではいませんか、子供のおななは抱えて生活に困ってはいませんか、しかもその病人は病苦と貧乏によつて希望を失ってはいませんか。

其の他いろいろと人間が生きてための苦悩が多すぎるので、何とかしてこれを取除かなければなりません。それには先づ第一に市民の不安定な経済生活を安定に導き、市民の貧困となやみを解消して、失はれた個人の自由と家庭平和をととりもどさなければなりません。

この貧困が全面的に解消されない限り、人々は生きんがために個人の自由をすてゝ権力ある者に服従し勝が増大されるわけでありま

従つて貧困者の米ビツに米を補給し、貧しい病人に薬を与へ、職のない人には職を、内職のほしい人には内職を斡旋し、また家庭上の色々な悩みごとを解決の方向に導いて、社会から一切の暗いかげを取除き「健康で住みよい社会」をつくるのが本当の生活改善だと思ひます。

この様に、生活改善の本質的なものはどこまでも物心両面にあるのです。「物と心」のうち、物は手にとつて見ることができるので、比較的改善しやすいですが、心は見る事ができないので、その改善は甚だしく困難であります。特に日本人は、戦後十年間、心が空白になっており、心は空っぽになっており、意味の宗教などによって高めてゆかなければ、真の家庭平和は得られないと考えます。

今問題になっている青少年の補導などに当つても、心のない人、来るべき社会の改善はできないことにな

一三〇、一〇、記



第十回新生活運動研究大会に参列して得るところが大きかった。参考までに二、三感じたまふをお伝えする。特に家庭の平和を守る為にはどうすればよいか、ということについて教えられる面が多

ら何かをつかみ或は実践され、幸福である。一、夫婦の間では互に相手尊重しながら話し合いを徹底させておくこと。一、青年は結婚について真剣に考えているが、それには恋愛を前提としたい傾向だから十分理解をもつてやる必要がある。一、老人には、やわらかい言い廻しをいたわること「未だ丈夫なんですよ」などという言葉をきくはさむと老人はなげなくなりひいてはむがむようになる。一、女子青年の場合、何事も先輩や近親の方や両親の立場からよく指導してやり、秘密をもたせないこと。

一、一家は乳児から八十才の老人までのものが同居しているのが心理的にも考へ方に相当の開きがあるから週一回なり夕食の時各年令層の立場から考へを述べあつて和合の道を開くことが何より大切なことである。この意味で、若い世代の子女と封建性の濃い老人との間にはさまつた一家の中心となつてゐる夫婦は実に容易でないで若いものや子供たちの読みものをみたり、又老人の心理を研究したりしてつとめて一家の和合に努力する必要がある。(総務課長・大森)

一、人を欺く為に学問すべからざる事。一、人と争う為に学問すべからざる事。一、人を誹る為に学問すべからざる事。一、人を罵る為に学問すべからざる事。一、人の邪魔する為に学問すべからざる事。一、名を売る為に学問すべからざる事。一、利を貪る為に学問すべからざる事。一、痛い言葉の数々である。知ることも多くして、反省すること少く人間として、実際痛い言葉である。ところが、いまの多くの人は、その痛さを感じ得ないままに、麻痺中毒しておるようなことはありはしないか。



○今やあらゆるものが一大転機にあるとき、明るい社会をまた新しい生活をつくらうとする真剣な努力がもくもくと展開される気運にあることは誠に喜ばしいことです。○租税完納と貯蓄運動の推進、冠婚葬祭の簡素合理化などを図ることもより大切なことではあるが一番身近なことで市民の誰もが実践された期待することは来る十一月十二日行なわれる市議及び教委の同時選挙を普選三十年目に当る今年の名に恥じない公明選挙でありたいことでもあります。○少ない紙面をさいて選挙関係の記事を載せたのも故なしとしないのであります。○生活改善に関連しないものはないので次号より僅かづつでも市報としての記事掲載してみたいと存じます。皆様の御寄稿をお待ちしております。(編集部・棚谷)